

研修報告書

議員・職員のための

「質問力・政策力を高め議会力にいかす」に参加してきましたので報告します。

1. 研修の概要

日時：H30.10.15

- 午前：＜政策・制度＞と自治体、政策議会とはなにか、政策議会は可能か、政策議会の市民参加、自治体議会の「再構築」
- 午後：たかが一般質問されど一般質問、一般質問の機能と課題、機能する一般質問のために、政策議会の資源としての一般質問、政策議会の一般質問

場所：名古屋都市センター（金山総合駅前）、参加者：15名

2. 研修の内容および感想

午前中、自治体とは、議会とは、政策とは、「政策議会」について。

政策は、未来をどうしてゆくかのデザイン。正解は誰にもわからない。
わからない事を決めることのできる最強の機関が、「議会」。

議会には、「正解のない事を代表者がオープンで議論して決めることで、住民のみなさんに納得してもらおう」機能がある。

(開かれた議論、いろんな意見をとりあげる、意見集約、結論を出す)

実は、この部分が弱い。ここをもっとやってゆけばよい。

「議員間討論」「議会報告会」

議会は政策を決める。首長は政策を実行する。が二元代表制。

午後、一般質問について。

政策は、元をただせば、ある人ひとりの発案。

ひとりの発案を政策をもってゆくプロセスとして一般質問をとらえる。

◆一般質問のテクニック

ネタ：現場からの「まちの課題」

構成：事実、分析、主張を区別。主張のみでは説得力がない。

情報収集：データベースを活用。

機能：議会の一部として、自治体に監査機能、政策提案機能を果たす。

◆一般質問を政策資源とする

一般質問 → 委員会の「所管事務調査」 → 委員会提案 → 議決（提言）

議員間討論の素材として

議員同士で選ぶ「今議会のベスト一般質問賞」→議会だよりに など。

感想

「議員とは？」がクリアになる。今までで一番良かった。ダントツでお薦め。

以上